

令和 7 年度

福井大学大学院工学研究科
博士前期課程項
目
募集要項
(第2次募集)

一般選抜

社会人特別選抜

令和 6 年 10 月

(令和 6 年 11 月 7 日一部修正)

格致によりて 人と社会の未来を拓く

国立大学法人



福井大学

UNIVERSITY OF FUKUI

日 程 概 要	
選 抜 方 法	一般選抜・社会人特別選抜
出願資格事前審査書類提出期限	令和6年11月14日(木)
出 願 期 間	令和6年11月18日(月)～21日(木)
選 抜 期 日	令和6年11月29日(金)
合 格 者 発 表	令和6年12月11日(水)
入学手続書類の送付	令和6年12月11日(水)
入 学 手 続 期 間	令和6年12月16日(月)～19日(木)

I. アドミッション・ポリシー	1
II. 共通事項	
1. 募集人員	3
2. 出願期間	3
3. 出願手続	3
4. 障がいのある入学志願者の事前相談	8
5. 合格者発表	8
6. 入学手続等	8
7. 長期履修学生制度	9
8. 安全保障輸出管理について	9
9. 個人情報の利用	9
III. 一般選抜	
1. 出願資格	10
2. 選抜方法等	11
IV. 社会人特別選抜	
1. 社会人特別選抜の概要	12
2. 出願資格	12
3. 選抜方法等	13
V. 学力検査等の方法	14
VI. 工学研究科博士前期課程案内	
1. 授業科目及び授業担当教員	15

<注意>

- ・ 本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・ 受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
[ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・ 電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。

I. アドミッション・ポリシー

(1) 養成する人材像

工学研究科では、確かな専門知識と高い倫理観を有し、自然や環境と調和した人間社会の豊かな発展に貢献できる工学系人材を養成します。特に、博士前期課程では、スペシャリストとしての専門の深い知識と同時に、分野の多様性を理解し、他者との協調の下、異分野との融合・学際領域の推進も見据えることができるジェネラリストとしての幅広い知識・俯瞰的視野を持つ高度専門技術者及び研究者等を養成します。

○産業創成工学専攻

化学やバイオ、機械に関連する基盤技術に関する知識と技術経営を融合し、繊維等の特色ある地域産業や自動車等の輸送機器産業、医療や農業、食品産業などのさまざまな産業・分野における活発な発展に資する研究開発とその教育を行い、「ものづくり」に加え「ことづくり」をも担う高度専門技術者及び研究者等を養成します。

○安全社会基盤工学専攻

エネルギーの安定的確保や持続可能な都市・地域のための社会基盤実現が社会から強く求められている中、そのような安全・安心で快適・効率的な社会を創造し持続させるために必要な社会の抱えているリスクの軽減や人類の利便性の向上に資する研究開発とその教育を行い、持続可能な社会の創造に必要な技術革新に取り組み、新たな社会基盤技術の創出に貢献する高度専門技術者及び研究者等を養成します。

○知識社会基礎工学専攻

第3次産業革命（情報・通信）および第4次産業革命（ロボット・知能システム）の技術革新を利活用して、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会（Society5.0）の実現に向けた、知識基盤社会に資する基礎研究およびその教育を行い、Society5.0で示された新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域で活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会である「知識基盤社会」を支える工学を担う高度専門技術者及び研究者等を養成します。

知識社会基礎工学専攻の知能システム科学コースと情報工学コースの志願者に対しては、全ての選抜において、情報あるいは数学の基礎学力を確認します。

(2) 求める学生像

(2-1) 能力、意欲等

工学研究科博士前期課程では、養成する人材像を踏まえ、以下のような入学者を求めます。

1. 専門分野の研究に取り組みたい人
2. 未来社会を支える科学技術の創造と開発に意欲のある人
3. 人間社会の持続的発展に寄与する研究開発をグローバルな視点から進めたい人

(2-2) 入学までに学習・修得しておくことが期待される内容

志願者には、志望する専門分野の基礎知識（大学卒業程度）とその活用方法、論理的思考力、英語の能力などを身に付けておくことを期待します。

(3) 入学者選抜の基本方針

多様な背景を持った学生の受入れを進めるため、推薦選抜、一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜を実施します。それぞれの選抜においては、求める学生像を踏まえ、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

以下において、下線が引かれた学力検査や資料等は判定にあたり重視するものです。ただし、下線が引かれていないものでも、評価結果が著しく低い場合には、判定に大きく影響します。

推薦選抜は、成績が優秀で人物ともに優れ、在籍する大学の学長又は学部長等が責任をもって推薦できる者を対象とします。口述試験及び面接、書類審査により、志望する専門分野の基礎知識および意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

一般選抜では、原則として、基礎科目、専門科目、外国語科目の試験を課します。その結果と学部での成績により、志望する専門分野の基礎知識や英語の能力等を評価します。さらに、口述試験及び面接、書類審査により意欲・適性等を評価します。これらの結果を総合して評価・判定します。

外国人留学生特別選抜は、国費外国人留学生又は私費外国人留学生として入学を希望する者で、成績優秀な者を対象とします。学力検査を免除し、口述試験及び面接、書類審査により、志望する専門分野の基礎知識および意欲・適性・目的意識等を総合的に評価・判定します。

社会人特別選抜では、企業等に勤務している者で所属長からの推薦を受けた者を対象とします。口述試験及び面接、書類審査により、志望する専門分野の基礎知識および意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

産業創成工学専攻の経営技術革新情報工学コース、安全社会基盤工学専攻の電気システム情報工学コース及び知識社会基礎工学専攻の知能システム科学コースと情報工学コースの志願者に対しては、全ての選抜において、情報あるいは数学の基礎学力を確認します。

Ⅱ．共 通 事 項

1．募集人員

専攻名	コース名	一般選抜	社会人特別選抜
産業創成工学専攻	経営技術革新情報工学 コース	5 名	若干名
安全社会基盤工学専攻	電気システム情報工学 コース	5 名	若干名
知識社会基礎工学専攻	知能システム科学 コース	6 名	若干名

※上記以外のコースは第2次募集を行いません。

※知識社会基礎工学専攻の知能システム科学コース全体の募集人員は37名

※令和7年度より、産業創成工学専攻 経営技術革新工学コースは経営技術革新情報工学コース（募集人員8名）、安全社会基盤工学専攻 電気システム工学コースは電気システム情報工学コース（募集人員22名）に名称変更いたします。

2．出願期間

令和6年11月18日(月)～21日(木) 16時必着

3．出願手続

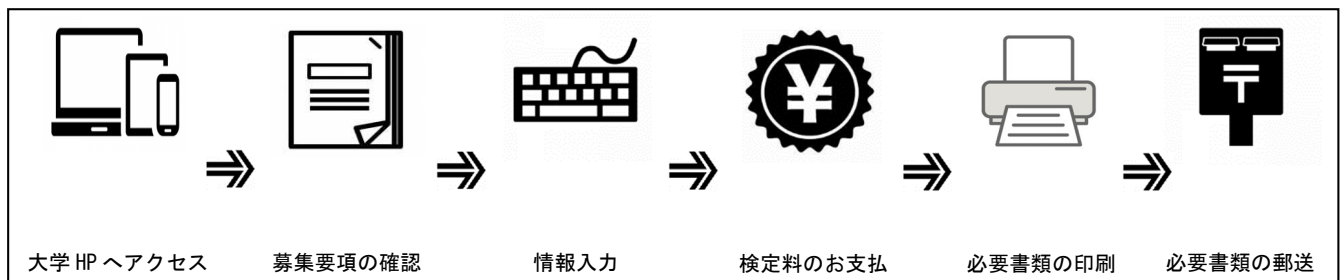
出願手続は、インターネット出願システムでの出願情報入力及び入学検定料の支払を行った後、必要な書類等を郵送又は持参することにより、出願完了となります。

(1) 出願について

- ① 出願書類等は市販の角型2号封筒(240mm×332mm)に、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、本学入試課へ郵送(簡易書留速達)するものとし、出願期間最終日の16時までに必着するよう十分配慮し送付してください。ただし、期限後に到着した出願書類等のうち出願期間最終日の2日以前の発信局日付印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。
持参の場合は、9時から16時に本学入試課へ提出してください。なお、検定料の納入は必ず所定の手続により行ってください。
- ② 郵便局で交付され簡易書留郵便受領証等は、大切に保管してください。

(2) 出願方法

○インターネット出願の流れ



インターネット出願により行います。出願完了には下記①～④のすべての手続きが必要です。

① インターネットによる出願情報の入力

出願情報入力可能期間

令和6年11月11日(月)9:00～11月21日(木)16:00

*出願期間とは異なります。

② 入学検定料の支払

入学検定料 30,000円

入学検定料の詳細は、7ページの「(4) 検定料の支払方法」を参照してください。

③ 必要書類等の印刷

④ 必要書類等の郵送

インターネット出願サイトへは、福井大学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) からアクセスできます。

出願書類を郵送する際は、市販の角型2号封筒(240mm×332mm)に、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、簡易書留速達で郵送してください。

提出先 〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

(注) インターネット出願は、インターネットでの情報入力及び入学検定料の支払を行っただけでは出願手続完了とはなりません。出願期間内に、5ページから6ページの提出書類を郵送(必着)することで完了となります。

(3) 出願書類等

①インターネット出願サイトから印刷するもの

出願書類等	一般選抜	特別選抜 社会人	留意事項等
出願確認票（提出用）	○		インターネット出願情報入力後，申込確認ページより A4 サイズでカラー印刷し，提出してください。 注）印字されている内容に誤りがないか確認してください。 出願確認票は，検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了していないと印刷できません。
出願封筒用宛て名ラベル（郵送する場合）	○		インターネット出願情報入力後，申込確認ページより A4 サイズでカラー印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください（普通紙印刷で糊付け可）。 注）印字されている内容に誤りがないか確認してください。また，出願後受信場所が変更となった場合は，速やかに連絡してください。封筒は，市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）を使用し，簡易書留速達で郵送してください。

②インターネット出願サイトでアップロード作業が必要なもの

出願書類等	一般選抜	特別選抜 社会人	留意事項等
証明写真データ	○		インターネット出願情報入力及び検定料支払後，情報入力完了メールに記載されている URL から，志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 注）志願者本人と判別できるもので，カラー・上半身無帽・正面向き・無背景・直近 3 か月以内に撮影した 100KB～5MB の jpg 又は png 形式のデータを使用してください。

③その他必要な提出書類

出願書類等	一般選抜	特別選抜 社会人	摘 要
卒業（見込）証明書等	○		出身大学の卒業（見込）証明書で，大学長又は学部長等発行のもの。 なお，本学卒業見込者は提出不要です。
推薦書	○ （任意）		本学ホームページ（ https://www.u-fukui.ac.jp/ ）「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式を A4 サイズで印刷の上，在籍大学等の学長（学部長）・学校長又は指導教員等が作成し，厳封したもの。

出願書類等	一般選抜	特別選抜 社会人	摘 要
成績証明書	○		出身大学の成績証明書で、大学長又は学部長等発行のもの。 出願資格（２）に該当する者は、短期大学又は高等専門学校 の成績証明書と専攻科の成績証明書の両方を提出してくだ さい。
学位証明書	○		・出願資格（２）に該当する者は、学位証明書を提出してく ださい。学位を授与される見込みの者は、学士の学位授与を 申請予定である旨の短期大学長又は高等専門学校長の証明 書を提出してください。 なお、卒業（見込）証明書を提出した方の提出は不要です。 また、本学卒業（見込）者は提出不要です。 ・外国の大学その他の外国の学校を卒業した者は、学士相当 の学位を取得したことを証明する書類（学位取得証明書等） を提出してください。 注）修士又は博士の学位を授与している場合であっても、学 士の学位を取得した大学の証明書が必要です。）
研究計画書		○	本学ホームページ（ https://www.u-fukui.ac.jp/ ）「受験生 の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードし た所定の様式に、入学後の研究計画について1,000字以内 で記入してください。所定様式に準じて作成しても構いま せん。A4サイズで印刷の上、提出してください。 ※出願確認票に記載された受験番号を記載してください。
業務概要		○	現在までに携わった研究・技術職の内容を詳しく記入した ものを提出してください。様式は任意です。※出願確認票 に記載された受験番号を記載してください。
受験承諾書		○	本学ホームページ（ https://www.u-fukui.ac.jp/ ）「受験生 の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードし た所定の様式をA4サイズで印刷の上、勤務先の所属長又は これに準ずる者が記入・押印したものを提出してくださ い。 ※出願確認票に記載された受験番号を記載してください。
履歴事項 （外国の学校教育 を受けた方等）	○		本学ホームページ（ https://www.u-fukui.ac.jp/ ）「受験生 の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードし た所定の様式に記入してください。A4サイズで印刷の上、 提出してください。
住民票等 （外国人の方）	○		本邦在留の外国人は、市区町村長発行の住民票（ 本人に係る すべての事項を証明したもの ）を提出してください（コピー 不可）。海外住居者は、住民票の代わりにパスポートのコピ ー（姓名、国籍及び在留資格が記載されたページ）を提出し てください。 なお、在留資格が「留学」以外の者は、在留資 格に係る承諾書（本学ホームページ（https://www.u-fukui.ac.jp/）「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」 よりダウンロードした所定の様式をA4サイズで印刷の上） を提出してください。 ※出願確認票に記載された受験番号を記載してください。

注①出願者は、出願前に、あらかじめ希望する指導教員の了承を得る必要があります。

②提出する書類のうち証明印、サインのあるものは、コピーの提出は認めません。

③出願書類は黒のボールペン書き（消せるボールペンは使用不可）とし、かい書で正確に記入し
てください。

- ④受理した出願書類等は、どのような理由があっても返還しません。
- ⑤出願書類等に不備がある場合は、受理できないことがあるので十分注意してください。
- ⑥出願書類等の偽造、虚偽記載、剽窃、その他選抜の公平性を損なう不正な行為が認められた場合には、出願を取り消します。また、出願受理後または入学後に書類等に不正があることが明らかになった場合には、出願受理または入学許可を取り消します。なお、この場合、検定料及び入学料は返還しません。
- ⑦**日本語又は英語以外で書かれた書類については、日本語の訳文を添付してください。**
(Please attach Japanese translation to documents that are written in languages other than Japanese or English.)
- ⑧出願資格の(9)又は(10)に該当する者は、出願資格審査で既に提出されている書類に関しては、改めて提出する必要はありません。

(4) 検定料の支払方法

- ① 検定料 30,000円
検定料の他に、支払手数料(自己負担)が必要です。
- ② 支払期間
令和6年11月11日(月)9:00~11月21日(木)
*出願期間とは異なります。
ただし、出願書類等は、出願期間最終日16時までに提出であることに特に注意して早めに支払ってください。
- ③ 支払方法 コンビニエンスストア、銀行ATM(Pay-easyでの支払)、クレジットカード(VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club)及びネットバンキングのいずれかで支払可能です。
- ④ 支払に際しての留意事項
ア. 銀行窓口での支払はできません。
イ. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。
ウ. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。
エ. 支払手数料は、入学志願者本人の負担となります。
- ⑤ 検定料の返還に関する留意事項
出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の検定料は返還しません。
次の該当者は、速やかに本学入試課に問い合わせてください。
ア. 検定料を支払ったが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
イ. 検定料を誤って二重に支払った場合

返還の振込先口座が、日本国外の金融機関の場合、振込手数料等は志願者の負担となります。
本学に振り込まれた金額から手数料等を控除して返還します。

(5) 受験票の印刷

令和6年11月22日(金)9時

上記日時から、インターネット出願サイトより受験票の印刷が可能になります。申込確認画面からログインし、A4サイズで印刷してください。

試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。なお、氏名等に間違いがある場合には、本学入試課へ連絡してください。

連絡先 0776-27-9927

4. 障がいのある入学志願者の事前相談

本研究科入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、以下のとおり本学入試課（電話 0776-27-9927）に出願前申請を行ってください。

また期限後にやむを得ない事情等により申請が必要になった場合には、速やかに電話等により相談ください。

1. 出願前申請の期限

令和6年11月14日（木）まで

2. 事前相談の申請方法等

本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「トップページ」→「受験生の方へ」→「入試情報・募集要項」内の「障がいのある入学志願者等の事前相談」から確認してください。

5. 合格者発表

令和6年12月11日(水)10時

本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) の「受験生の方へ」内に合格者受験番号を発表するとともに、合格者あてに合格通知書を送付します。なお、電話による照会には一切応じません。

6. 入学手続等

合格者には、合格通知書とともに、入学手続関係書類を送付するので、その内容をよく確認して手続を行ってください。

なお、入学手続期間内に所定の入学手続を完了しなかった者は、本学への入学を辞退したものととして取り扱います。

(1) 入学手続期間・方法

令和6年12月16日(月)～19日(木)（最終日16時までに必着のこと）

入学手続は、郵送又は持参によるものとします。

- ① 郵送の場合は、入学手続書類等を本研究科所定の封筒に同封のうえ、簡易書留郵便で入学手続期間内に必着するよう送付してください。入学手続期間後に到着したものは、いかなる理由があっても一切受理しないので郵便事情を考えて早めに送付してください。
- ② 持参の場合は、入学手続期間の9時～16時に本学入試課へ提出してください。

(2) 入学手続時に要する経費

- ① 入学料 282,000 円（予定額）

- ② 授業料 前期分 267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

授業料については、入学手続時に入学料と併せて前期分又は前・後期分を一括して納入することもできます。入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」で通知します。

入学時及び在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。

- ③ 保険

傷害保険及び賠償責任保険

教育研究活動中の事故を補償するために、入学時に全員が何らかの傷害保険及び賠償責任保険に加入することを原則としています。

本学では、学生教育研究災害傷害保険（通学特約付）及び学研災付帯賠償責任保険の取り扱いがありますが、その他大学生協等で同等の傷害保険及び賠償責任保険に加入しても

構いません。

(3) 入学料免除・徴収猶予と授業料免除・徴収猶予

経済的理由等により、入学料・授業料の納入が困難な者には、入学料免除・徴収猶予、授業料免除・徴収猶予制度があります。

希望者は、合格者に送付する「入学手続要項」の入学料免除・徴収猶予、授業料免除・徴収猶予に関する欄を熟読して、所定の期間に申請をしてください。

なお、上記の経済的理由等によるものの他に、現職教員、企業等に勤務している社会人にあつては、大学院入学時の成績が優秀な者に対して、入学後 1 年間の授業料を半額免除する制度があります。希望者は、所定の期間に申請をしてください。

奨学金等、その他の支援制度については、「入学手続要項」や大学ホームページにてご確認ください。

7. 長期履修学生制度

本研究科に入学しようとする者で、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修することを希望する者は、合格者に送付する「入学手続要項」等送付時に同封する長期履修学生制度に関する通知を熟読し、入学手続前に所定の申請をしてください（外国人留学生は対象外）。

8. 安全保障輸出管理について

福井大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「福井大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規則事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「福井大学安全保障輸出管理規程」

<https://www4.kitei-kanri.jp/unv/fukui/doc/extramural/rule/156.html>

9. 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備（学籍管理、履修準備含む）、④入試の改善や志願動向等の調査、⑤入学後の履修指導や教務関係事務に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- 1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すことになります。）
- 3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害する恐れがない範囲で、学術研究の目的のために提供する場合

【問い合わせ先】 福井大学学務部入試課

Ⅲ. 一 般 選 抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学を卒業した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者又は令和 7 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより該当課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 7 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- (9) 令和 7 年 3 月末日において、次に掲げる事項のいずれかを満たし、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
 - ① 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者
 - ② 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者
 - ③ 外国において、学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 22 歳に達しているもの

※ 出願資格の（9）又は（10）によって出願する者は、出願期間前に出願資格審査が必要となるので、「出願資格審査調書」（本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式）に必要書類を取りそろえ、令和 6 年 11 月 14 日（木）16 時までに本学入試課へ提出してください。

なお、審査の結果は出願期間開始日までに本人あてに通知します。

2. 選抜方法等

(1) 選抜方法

学力検査等及び書類審査の結果を総合して行います。
14 ページからの「V.学力検査等の方法」を参照してください。

(2) 選抜期日等

- ① 日 時 **令和6年11月29日（金）**
- ② 試験場 福井大学工学部 福井市文京 3-9-1

当日は，コースごとの試験室となる建物の玄関前に試験室場所の掲示を行います。
試験室となる建物の情報は，試験日の2日前までに本学ホームページに掲載します。

(3) 受験上の留意事項

- ① 受験者は、**必ず受験票を携帯し、試験開始 15 分前までに各試験室等へ集合**してください。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合は，試験開始後 30 分以内に限り受験を認めます。
- ③ 本研究科が課す選抜試験を一部でも受験しなかった場合には，失格となります。

IV. 社会人特別選抜

1. 社会人特別選抜の概要

(1) 趣旨

「社会人特別選抜」とは、企業等に勤務している者を、所属長からの推薦に基づいて選抜する制度のことであり、推薦を行う企業等は、在職のままの修学について応諾することを前提としています。この制度は、社会に開かれた大学院教育の一環として、社会人に対して再教育の場を提供するとともに、大学と産業界との活発な交流により、新しい学問を「新しい技術」に展開・発展させることを目的として実施するものである。

(2) 教育方法の特例の概要

- ① 博士前期課程2年のうち、1年目は課程修了に必要な単位の大部分を昼間の授業で修得し、2年目は夜間及び土曜日、日曜日に登学し、主として修士論文作成のための研究に専念することを原則としています。ただし、コースによっては、1年目は夜間に登学して課程修了に必要な単位を修得し、2年目は昼間に登学して修士論文作成のための研究を行うこともあるので、出願前に必ず志望コースのコース長に問い合わせてください。
- ② 入学に当たっては、指導教員の指導の下に2年間を見通した履修計画を提出してください。
なお、勤務の都合から履修計画に変更が生じた場合は、その都度申し出て許可を得てください。
- ③ 企業等における研究も、その内容が修士論文にふさわしければ研究のテーマとして認め、また、勤務先の設備を利用した研究を認めることがあります。

2. 出願資格

各種の研究機関、教育機関又は企業等に勤務する技術者又は研究者で、入学後もその身分を有し、所属長からの推薦を受けた者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

- (9) 令和7年3月末日において、次に掲げる事項のいずれかを満たし、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
- ① 学校教育法（昭和23年法律第26号）第83条に定める大学に3年以上在学した者
 - ② 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者
 - ③ 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達しているもの

※ 出願資格の（9）又は（10）によって出願する者は、出願期間前に出願資格審査が必要となるので、「出願資格審査調書」（本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式）に必要書類を取りそろえ、令和6年11月14日（木）16時までに本学入試課へ提出してください。

なお、審査の結果は出願期間開始日までに本人あてに通知します。

3. 選抜方法等

(1) 選抜方法

学力検査等及び書類審査の結果を総合して行います。
14ページからの「V.学力検査等の方法」を参照してください。

(2) 選抜期日等

- ① 日 時 **令和6年11月29日（金）**
- ② 試験場 福井大学工学部 福井市文京3-9-1

当日は、コースごとの試験室となる建物の玄関前に試験室場所の掲示を行います。
試験室となる建物の情報は、試験日の2日前までに本学ホームページに掲載します。

(3) 受験上の留意事項

- ① 受験者は、**必ず受験票を携帯し、試験開始15分前までに各試験室等へ集合**してください。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り受験を認めます。
- ③ 本研究科が課す選抜試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。

V. 学力検査等の方法

産業創成工学専攻

【経営技術革新情報工学コース】

	11 月 29 日（金）
選抜区分	面接（口述試験を含む）
一般	13:30～
社会人	13:30～

口述試験 及び面接	面接を行う（口述試験を含む）。注1） ※面接の中で一部、英語による質疑を行う。
--------------	--

安全社会基盤工学専攻

【電気システム情報工学コース】

	11 月 29 日（金）
選抜区分	面接（口述試験を含む）
一般	13:30～
社会人	13:30～

口述試験 及び面接	面接を行う（口述試験を含む）。注1） ※面接の中で一部、英語による質疑を行う。
--------------	--

知識社会基礎工学専攻

【知能システム科学コース】

	11 月 29 日（金）
選抜区分	面接（口述試験を含む）
一般	13:30～
社会人	13:30～

口述試験 及び面接	面接を行う（口述試験を含む）。注1） ※面接の中で一部、英語による質疑を行う。
--------------	--

注1）面接時の言語について、希望者には英語による補助を行う。

「感染症に関する注意事項について」

試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻しん等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験は認められません。ただし、症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。万全の体調で試験に臨めるよう、感染予防対策を励行し、自己の健康管理を徹底するように注意してください。

なお、上記理由により受験できなかった場合、追試験は実施せず、検定料の返還も行いません。

※感染症の状況に応じて変更する場合があります。変更となった場合は、本学ホームページの「受験者の方へ」内でお知らせします。

Ⅷ. 工学研究科博士前期課程案内

1. 各専攻の授業科目及び授業担当教員

区 分	授 業 科 目
工 学 研 究 科 共 通	科学英語コミュニケーションⅠ，同Ⅱ，科学英語表現Ⅰ，同Ⅱ，科学英語特別講義，大学院海外短期インターンシップⅠ，同Ⅱ，インターンシップ（企業派遣実習），長期インターンシップ，PBLⅠ，同Ⅱ，情報PBLⅠ，同Ⅱ，生命複合科学特論Ⅰ，同Ⅱ，工業日本語特論Ⅰ，同Ⅱ

専 攻	授 業 科 目	授 業 担 当 教 員 名
産業創成工学専攻	産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ，同Ⅱ，産業創成工学特別講義Ⅰ，同Ⅱ，同Ⅲ，同Ⅳ，産業創成工学ゼミナールⅠ，同Ⅱ，MOT概論，産業創成工学PBL，経営学基礎，技術経営のすすめ，技術系マネジメント基礎，起業化経営論，システム創造思考法，異分野コミュニケーション，材料・加工工学概論，繊維・高分子材料科学，繊維・高分子架橋体工学，繊維・高分子加工工学，繊維・高分子材料レオロジー特論，カラーレーション工学，無機材料化学特論，繊維産業工学，セラミックス材料特論，塑性加工工学，金属材料強度学，ナノトライボロジー，機械加工工学特論，サステイナブルケミストリー概論，重合反応論，界面コロイド化学，高分子設計論，応用分析化学，有機化学特論，高分子構造特論，高分子分子論，線形粘弾性解析論，化学工学特論，高分子反応工学，ライフサイエンス概論，生物有機化学特論，バイオ高分子化学特論，分子構造・環境解析化学特論，分子細胞生物学特論，生命機能科学特論，バイオマテリアル特論，生物工学特論	経営技術革新情報工学コース 米沢晋，竹本拓治
安全社会基盤工学専攻	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ，同Ⅱ，安全社会基盤工学特別講義Ⅰ，同Ⅱ，同Ⅲ，同Ⅳ，安全社会基盤工学ゼミナールⅠ，同Ⅱ，社会インフラ概論，量子エネルギー応用論，半導体デバイス，システム工学特論，信号処理特論，計算科学，計算機工学特論，建築弾塑性力学，建築都市計画特論，都市論，都市計画特論，土木構造特論，構造材料学，日本建築史特論，建築インターンシップ，エネルギー概論，熱事象・エネルギーシステム，冷凍空調工学特論，数値流体力学，統計力学，エネルギー工学特論，電力システム，原子炉システム基礎Ⅰ，同Ⅱ，核燃料サイクル実習，原子炉実習，原子炉物理学，次世代炉システム，熱水力安全工学，原子力材料学特論，核燃料工学特論，プラント安全工学基礎Ⅰ，同Ⅱ，原子力の安全性と地域共生，原子力プラント設計工学，原子力プラント保全工学，原子力安全演習Ⅰ，同Ⅱ，リスクマネジメント概論，安全安心の熱流体工学，地震工学特論，国土・地域計画特論，原子力規制・法規，放射線基礎Ⅰ，同Ⅱ，放射化学特論，放射線化学・生物学特論，原子力防災特論，放射線物理学特論，放射線利用，リスク評価特論，廃止措置・廃棄物管理工学，原子力・耐震耐津波工学特論，安全設計概論，精密メカトロニクス，制御システム，機械動力学，ロボット工学，回路・システム論，システム制御論，暗号と情報セキュリティ，建築構造設計学，建築耐震構造解析学，建築都市設計論，地盤解析学，地下水工学，交通論，建築換気力学，光環境工学特論，原子力工学基礎Ⅰ，同Ⅱ	電気システム情報工学コース 伊藤雅一，王榮龍，小原敦美，廣瀬勝一，Asubar Joel Tacla，木村欣司，坂口文則，茂呂征一郎，重信颯人，田邊英彦

知識社会基礎工学専攻	知識社会基礎工学特別演習及び実験Ⅰ，同Ⅱ，知識社会基礎工学特別講義Ⅰ，同Ⅱ，同Ⅲ，同Ⅳ，知識社会基礎工学ゼミナールⅠ，同Ⅱ，ヒューマンサイエンス概論，三次元情報処理特論，パターン認識特論，聴覚情報処理，バイオメカニクス，最適運動計画特論，人間知能システム論，生物情報学，ヒューマンロボティクス，コンピュータサイエンス概論，計算量理論，映像情報符号化特論，計算機組織論，量子力学と量子コンピューティング，情報信号処理工学特論，情報通信論，通信ネットワークデザイン，ディジタル移動通信特論，計算物理学特論，計算化学特論，移動知能論，モバイルコンピューティング論，物性物理概論，量子光学Ⅰ，同Ⅱ，核磁気共鳴特論，電気エネルギー基礎論，分子熱力学，光エレクトロニクス特論，電波物性，低温物理学，基礎電磁波論，マイクロ波光学，遠赤外光学，遠赤外領域工学概論，電子管物理特論，電磁波工学特論，半導体表面界面物性，粒子線計測学，放射線物理学，高分子科学，レーザーフォトンクス，極限環境物性学，界面熱力学，薄膜工学，電子物性特論，数理情報科学概論，数理解析基礎，解析学特論，代数学特論，幾何学特論，相対論特論，量子力学特論，量子統計力学特論，ディジタル制御論，知識情報工学論，脳情報学，データベース論，深層学習，データサイエンスプログラミング，線形計算特論，画像計測特論，機械学習特論，データサイエンス特論，非線形システム論	知能システム科学コース 小越康宏，小高知宏，黒岩丈介，高田宗樹，高橋泰岳，浪花智英，藤垣元治，浅井竜哉，片山正純，庄司英一，田中完爾，築地原里樹，佐藤勇貴
------------	---	--

注：授業科目及び授業担当教員は予定であり，今後変更の可能性もあります。

＜参考＞ Curriculum of the Global Engineering Program for International Students (GEPIS)「国際総合工学特別コースカリキュラム」(GEPIS カリキュラム)

本入試に合格した者は，通常の博士前期課程カリキュラムで学ぶことも，講義・演習・研究発表等を英語で行う GEPIS のカリキュラムで学ぶこともできます。(どちらか一方を選択します。なお，GEPIS のカリキュラムには，別途 GEPIS 専用の選抜で入学した外国人留学生が参加します。)

GEPIS カリキュラムの履修を希望する者は，合格後に指導希望教員に申し出てください。(指導希望教員の推薦と所属専攻の承認が必要となります。)

福井大学位置図



両キャンパスを結ぶ連絡バスで移動できます。(約30分)

■文京キャンパス【教育学部・工学部・国際地域学部】への経路

- バス 福井駅－(約10分)－福井大学下車
[福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅－福大前西福井駅下車
[福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅－(約10分)－福井大学文京下車
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km
福井ICから国道158号線で西へ約8km

■松岡キャンパス【医学部】への経路

- バス 福井駅－(約35分)－福井大学病院前下車
[福井駅西口から出て市内バス乗り場1番から]
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅－松岡下車 バスに乗り換え約5分
[福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分＋バス]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅－(約30分)－福井大学松岡下車
[必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから北へ約4km、又は丸岡ICから南へ約5km
*標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。



■敦賀キャンパス【附属国際原子力工学研究所】への経路

- 鉄道 敦賀駅から徒歩で約3分
- 北陸自動車道 敦賀ICから敦賀バイパス国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- 電車で 大阪・京都－湖西線経由－福井
(特急・新幹線で、京都から約1時間15分、大阪から約1時間45分)
- 自動車 大阪・京都－<名神>－米原JCT－<北陸>－福井・福井北JCT・IC
(京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バスで 大阪・京都－<名神・北陸>－福井
(京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

- 電車で 名古屋・静岡－米原線経由－福井
(名古屋から新幹線・特急で約1時間30分)
- 自動車 名古屋－<名神>－米原JCT－<北陸>－福井・福井北JCT・IC
(約2時間)
- 高速バスで 名古屋－<名神・北陸>－福井(約2時間50分)

東京方面から

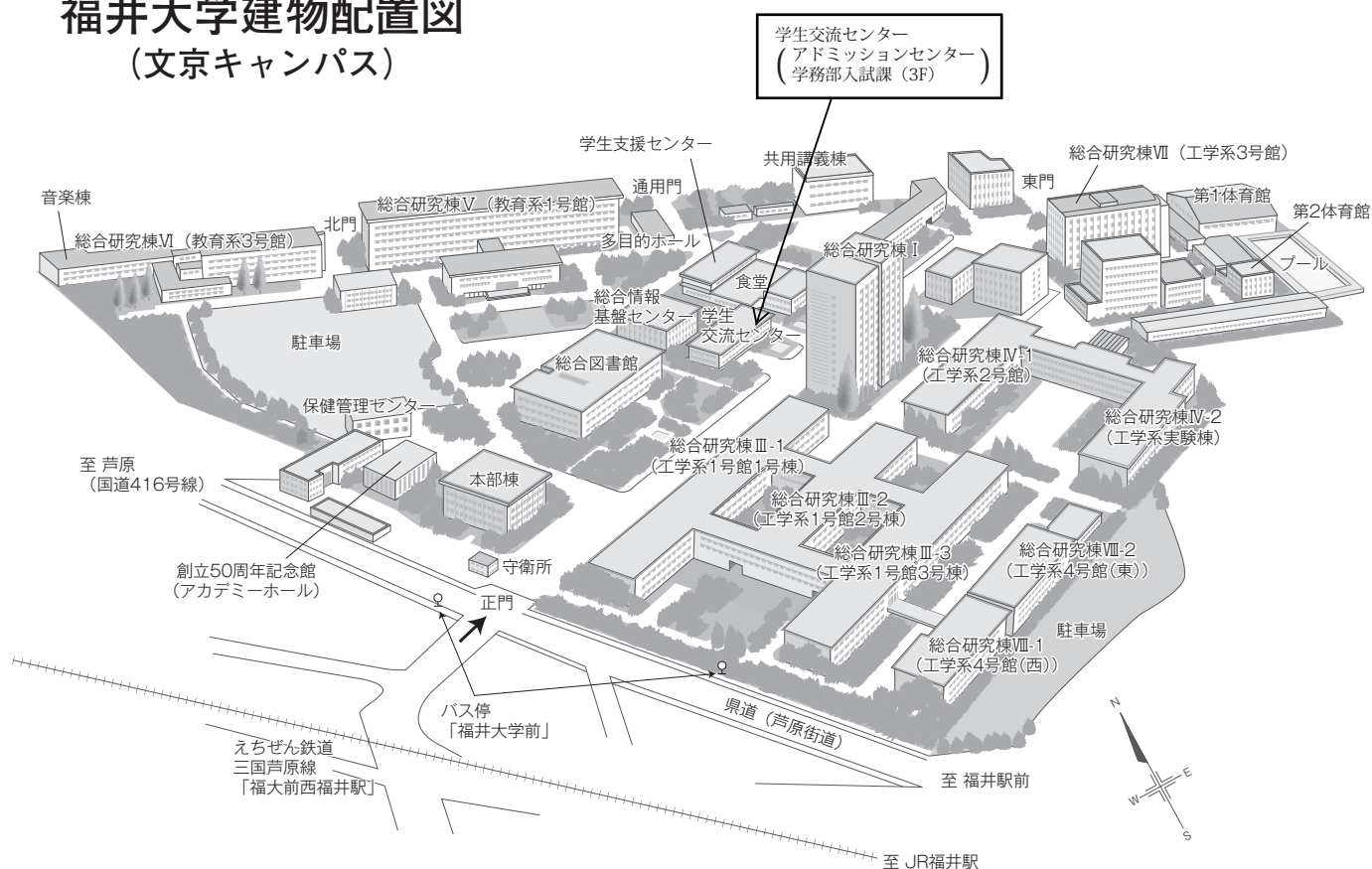
- 飛行機で 東京羽田－小松空港(1時間)－福井(連絡バス1時間)
- 電車で 東京－福井(新幹線約2時間50分)(直通)
東京－米原線経由－福井(新幹線・特急約3時間30分)
- 自動車 東京－<東名・名神>－米原JCT－<北陸>－福井・福井北JCT・IC
(約6時間30分)

金沢・新潟方面から

- 電車で 金沢・新潟－福井(金沢から新幹線で約20分)
- 自動車 金沢－<北陸>－丸岡－福井北JCT・IC(約1時間)



福井大学建物配置図 (文京キャンパス)



《受験に関する問い合わせ先》

福井大学学務部入試課

〒910-8507 福井市文京3-9-1

TEL 0776-27-9927

MAIL g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
〔福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>〕
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。